



令和3年度 いつついし自治会名簿

町内名	総務部会	安全部会	福祉部会	教育青少年部会	生涯学習部会	会長	蟹野 正男	西 町
東 町	柴田 修	大鋸谷茂喜	上田 由治	富田 耕司	竹本 隆広	副会長	平野 信一	栄 町
観音町	舘 英二	田中 力	木下千恵子	高野 知子	吉居 敏之	生涯学習部長	田畠 稔	本 町
中央通り	前田 幸司	高田 敏	角谷 隆光		小泉 忠弘	総務部長	上口 弘充	味噌屋町
寺 町	石崎 智志	石崎 智志	石崎和歌代	斉藤 正彦	鍋島 昭則	総務副部長	吉居 茂雄	天神町
旭 町	角谷 豊明	池村 英一	山下 博秋	石崎 祐子	江川 忠司	安全部長	加藤 潤一	川原町
西 町	池田 勉	中川 勝	桶谷 幸司	澤田 喜成	八幡 富二	安全副部長	岸澤 忠司	川原町
神田町	武田 俊之	才川 嘉洋	一前 悦郎	遊部 晶子	松井 幸子	福祉部長	定村 謙一	天神町
荒 町	西尾 泉	齊藤 昭	石黒 久尚	大島 康一	山田 弘和	福祉副部長	渡邊美和子	観音町
中荒町	川合 雅英	高瀬 亮	高瀬 夕紀	水口 広道		事務局長	本田 敏	栄 町
栄 町	宮崎 邦昭	米田 武司	定塚 雅敏	本田 敏	山田 修	教育青少年部長	山田 一雄	荒 町
五宝町	松居 政孝	松村紀久雄	松居 政孝	龍山 知子	小山 保夫	教育青少年副部長	山田 幸男	荒 町
本 町	中田 喜久	中村 和靖	伊藤 良一	水口 涼	田畠 稔	生涯学習副部長	山本 豊之	東 町
宮脇町	森田 義則	石井 秀徳	片村 寛明	森田 義則	石井 秀徳	監事	定村 一美	西 町
天神町	清玄寺吉郎	吉居 茂雄	山田 敦子	中川 実栄	石崎 法子	事務局	中田まり子	西 町
新 町	中田 文司		池村 典子	石黒 匠	安達 望			
東新町	麻井 謙治	中川 幸男	高輪 光枝	工藤 洋二	得能 充			
味噌屋町	上口 弘充	舟岡 和弥	桶谷いずみ					
川原町	田中英次郎	小林 政昭	西野 尚一		坂本 雄司			

早起きは三文の徳 恒例の朝市始まる

「このキャベツいくら？玉ねぎは新玉ねぎ？」の声が始まりました。恒例の「にぎわい朝市」の風景です。早起きは三文の徳といわれますが、新鮮な朝の空気と新鮮な野菜、街中ににぎわいをと始まった「福光にぎわい朝市」が6月3日（木）に再開されました。6か月ぶりの朝市初日、5時には馴染みの店舗がオープンし朝市を心待ちにしていた馴染みのお客さんと話が弾む中、新鮮な朝取れの野菜をそれぞれ買って満足！の顔。

この、朝市は6月から11月までの3と8の付く日に開催されます。雨の日でも旧図書館でやっています。皆さんのお越しをお待ちしております。



交流センター1階ホールの机が 新しくなりました



これ迄利用の机は重く、利用者の高齢化と共に設営回収作業が重労働があった為、軽易な作業となる物に変更いたしました。

2021年5月からの新しい町内会長

- ①町内人口 ②今年一年の抱負
- ③趣味 ④好きなTV番組
- ⑤最近感銘を受けた本
- ⑥好きな色



【東新町】麻井 謙治（65歳）

- ① 47人
- ② コロナウイルスに感染ないように気を付けて一年間乗り切りたい。
- ③ なし ④ いろいろ ⑤ なし ⑥ 黄、緑

第2回町内会長会

いつついし自治会
5月町内会長会

5月24日(月)に予定しておりました第2回町内会長会は、県内の新型コロナウイルス感染状況を鑑み中止といたしました。

今年度の総務部会としての取組課題と協議事項について

1. 町内会長会において
 - ・各町内の困りごと
 - ・連絡事項
 - ・他の部会との協力体制
2. 住民アンケート結果報告
 - ・福光の将来図となる中長期計画の作成に取組む
 - ・日常生活で不安に感じたことや困っていることベスト3
 - ① 屋根の雪下ろしや玄関の雪かきなどの冬季除雪のこと
 - ② 健康面への不安があること
 - ③ 災害への備えや避難に関すること
3. ひとり暮らしの高齢者世帯の見守り
4. 空き家・危険個所の把握等の問題
 - ・各町内の空き家・高齢者世帯・ひとり暮らし高

齢者世帯の把握

- ・危険個所の把握(危険空き家・用水路・ブロック塀・石垣・巨木等)
 - ・危険空き家等は市と連携して交渉していく。
5. 地域ぐるみの除排雪の組織づくり
- ・今年の大雪に対して危機管理は、町内会長だけでは回らなかった。
 - ・消雪の地下水が出ない、空き家前の歩道・道路の除雪がしていない所があった。
 - ・高齢者世帯・ひとり暮らしの高齢者世帯において除雪が困難なことから、日頃から声掛け等の取組を実施するとともに地域ぐるみの支援が必要である。
 - ・除雪対策委員に対して機能強化を図り、地域除雪活動の実施に向けて各町内で組織づくりを検討していただきたい。

ご意見・ご要望のある方は各町内会長を通じて、交流センターまでお寄せください。

南砺市初の「略式代執行」

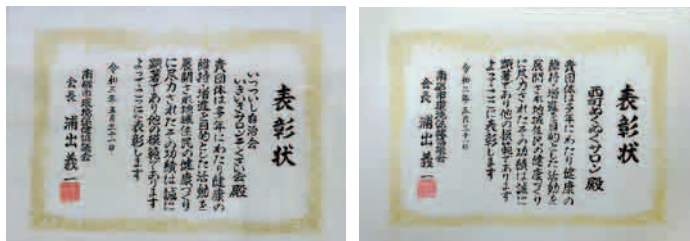
5月25日(火)、倒壊の恐れがあり所有者がいない福光地内の空き家を行政が取り壊す「略式代執行」が、南砺市で初めて行われました。午前10時



に市の職員が宣言した後、解体業者が入口の扉をバールで壊して撤去を始めました。築約100年と古い上、10年ほど前から空き家になっており、屋根の一部が崩れ建物が大きく歪んでいて周囲の住宅に被害が出るおそれがあり、近隣の住民からも苦情が寄せられていました。

木造2階建て住宅延べ151平方メートルと木造平屋の物置23平方メートル、2階建ての土蔵延べ36平方メートルが対象となっています。所有者が昨年亡くなったことから取り壊しが決まり、市は更地にした土地や他にも所有していた土地を、裁判所の手続きを経て売却し、およそ555万円の撤去費用に充てられます。

2サロンが南砺市環境保健協会から表彰される



5月30日(日)、福光福祉会館にて西町町内会サロン「ぬくぬくサロン」、いつついし自治会サロン「いきいきサロンそくさい会」が南砺市環境保健協会から表彰されました。

両会は長年、高齢者を対象に健康で健全な高齢社会を目指し活動を続けてこられました。この会の中でお互いの安否などの情報も共有し、地域の活性化に努められた事が認められたものです。

福光の町内名の由来 (Part 2)

前回3月号で1.東町から5.旭町まで紹介したので、今回は6.西町から紹介します。

6. 西 町 本町の西方に位するのでこの称がある。

- ・巴町 西町に巴組があり、西町の町称は巴紋であることからこの名がつけられた。
- ・南町 西町の南にある町だから南町といった。
- ・笹塚 笹塚は昔ササの生えた小丘であったので、付近を笹塚と称した。今は開拓せられてその形をとどめないけれども、なお附近一帯をいうのである。
- ・日焼 用水路の最末端のところで、常に用水の欠乏をとげ、水田の干ばつするところが多いので、その地域一帯を日焼(ヒノヤキ)という。
- ・殿館 寿永・元歴(1182～1185)のころ、福光の豪士福満五郎光久(福光城主であった石黒太郎光弘の弟)の館跡であったことにより殿館と称する。今は田地となってその形を残さない。(小泉岩四郎宅より西の地域)
- ・鴻巣 コウノトリが多く巣を作っていたので、地名として呼ぶようになったところである。(笹塚・日焼・殿館・鴻巣は現在でも字名で使われています)

7. 神田町 字西町の一部であるが、往古福光村から北蟹谷方面に至る道路であったことにより、蟹谷町(カンダマチ)といった。元、西町第十班であったが、昭和41年1月15日より神田町となる。

8. 荒 町 荒町とは「新町」の意であるが新町村が先にできていたので荒町とした。現在は西荒町も一緒になっている。

- ・西荒町 荒町が東荒町、中荒町、奥荒町の三つに分離したとき、奥の意をもって「奥荒町」というだったが、のちに西の方の意で「西荒町」と改称した。天保11年中荒町39軒、奥荒町52軒、西荒町49軒とある。
- ・右京亮 寿永・元歴(1182～1185)のころ石黒の豪士石黒太郎光弘が居住した福光城跡で(源平盛衰記)その子孫もまた先代ここにいた。文明13年(1481)2月18日石黒京亮のとき田屋川原(山田川)の一向一揆の戦いで滅びるところとなった。その後荒れ地となっていた

が開拓された。

9. 中荒町 元は五宝町を含めて荒町であり、東新町が五宝町になり、中荒町は現在の町内として現存し、奥荒町は荒町となっている。

10. 栄 町 由来は定かではないが、悲惨な戦争を二度と繰り返さないように、そして未来永劫に平和な街になるようにとつけられた。昭和22・23年ころに出来たであろう。

(栄町史誌より参照すると昭和24年より1、2年前に誕生したであろうとの記述あり)

- ・十三間町 栄町の前身で、往古和泉屋という商屋の蔵の戸前に十三軒の家が建ち並び、この一帯を「十三軒」から「十三間町」と呼称されるようになった。
- ・幸町 十三間町の西側に住宅が建ちはじめ、その住宅一帯を幸町というようになった。現在の石黒病院付近をいう。
- ・桑木 往時、用水路のあたりに、1,2反歩余りの桑畑があったので、付近一帯の土地をいう。現在は栄町桑の木団地として住宅が並ぶところである。
- ・五瀬 長川と紅川の用水が流れ、せせらぎもいくつかできていたところでこの地名がついたといわれる。
- ・高土居 往時、石黒氏の福光城址の北方に、小さな土居(土堤)があったが、今は土居が壊れてしまったけれども、その付近をすべて呼んでいる。
- ・柿木畠 昔、中学校附近にかんまの魚屋の柿ノ木が植えられたところがあったのでこの付近をいったという。

11. 五宝町 奥荒町、中荒町とともに荒町のうちであったが、分離して東荒町と唱えたけれども、旧善徳寺跡に真宗大谷派城端別院の福光支所(掛所)があるところから御坊町と改称し、さらに五宝町とあらためたものである。

- ・御小屋町 昔、芸妓さんが住んでいたところで、華やかであったという。小さい家が立ち並んでいたから小屋町に御をつけたのではなかろうか。

生涯学習部会の活動

令和3年度に入っても新型コロナ感染は一向に収まらず、変異ウイルスに翻弄されている感がいなめませんが、一方でワクチン接種がスタート、期待するところ大の今日この頃です。

そんな中、第1回花の講座を5月15日(土)午後2時から、

花植え & 令和3年度第1回生涯学習部会を5月29日(土)午前9時からそれぞれ開催しました。

第1回花の講座は、講師は河合裕子さん、参加者10名でフランネル、ジブシー、ラベンダー、ゴールデン・クラッカー及びペチュニアの5種を思い思いに「寄せ植え」しました。白を基調とした爽やかな寄せ植えが完成していました。



花植えは 生涯学習部 11名、蟹野会長と事務局員の4名、計15名で実施しました。前日までに準備した資材を使用しプランター約30個の花植え及び配置を手際よく完了しました。今年は桜の木の下周辺にはプランターを設置しないことにしました。

後片付け、交流センター廻りの清掃をして10時には終了しました。

その後、交流センターホールに移動し、令和3年度第1回生涯学習部会を開催しました。出席者の自己紹介に続いて令和3年度いつついし自治会役員名簿、生涯学習部会名簿および令和3年度の年間行事予定の説明を実施しました。

七夕コンサートについて、部会としては見送るとの結論に、盆踊りについては7月中旬頃の状況を見極めて可否を判断することにしました。

最後に福光地域生涯学習連絡協議会が行う「松村謙三没後50年記念フォーラム2021」への参加・協力をお願いしました。



町角で呼びかけられて語り合ふ短歌が取り持つ御縁うれしも
雨続き皐月に入りてもコタツ離せず変異コロナと二重の憂ひ
よく来たねブルーインパルスありがとうキラキラ光る見上ぐる顔顔
昨年まで楽に届きし換気扇 今昔伸びして漸く届く
鏡中左後方後れ毛を 見やる顔に母の影あり
照ノ富士決定戦で貴景勝に勝つて大関優勝したり

(福光短歌会)

六月詠草

(福光俳句会)

吊橋を軋ませ峽の青嵐
コロナ禍の故に齋無し御忌詣
園児らの仰ぎて歌う鯉幟
山間の水田に映る桐の花
春光を映して眩し水鏡
思い出の北の大地やラベンダー
娘と繰れる古きアルパム若葉雨
老鷲の声の咫尺や巴塚
五月雨や大田一枚湖のごと
莊園の水路跡守り菖蒲園
春宵や帰路の灯りの懐かしさ

山下 喜就 安田 富子 堀 恵 名村 五月 中山 朝 直井 真 利川 輝 尾崎いつ子 大浦 昌美 梅島くにを 駒形 隼男 宮岸 昇 桃野 瑞恵 竹本 幸子 斉藤よしえ 宮崎 平作 山崎 芳子

福光地区 7月行事のお知らせ

- 7/9(金) そくさい会 午後1時30分より
- 7/14(水) 上映会 午後1時30分より
- 7/16(金) 福寿大学 午後2時より
- 7/21(水) 町内会長会 午後7時より
- 7/23(金) そくさい会 午後1時30分より

